九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[11_3]きゅうとNEWSLETTER

https://hdl.handle.net/2324/1809672

出版情報：きゅうとNEWSLETTER. 11 (3), pp.1-, 2016-10. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

新中央図書館 全面開館までのスケジュール

自著紹介　本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください。

人間環境学研究院　教授　元兼　正浩

専門職としての校長の力量形成

牛渡淳，元兼正浩編集
ISBN:9784865610758　花書院　2016

分権化や規制緩和が進められた1990年代後半、School Based Management（学校に基礎を置いた教育改革）は世界的な潮流でもあり、改革のキーパーソンに校長が措定され、その資質・力量や専門性に関心が及ぶようになった。いわゆる「校長がかわれば学校は変わる」である。

本書はそうした専門職としての校長の力量形成のあり方を歴史や比較、実証の方法で切り込んでいこうとするものである。日本教育経営学会の会長であった牛渡淳・仙台白百合女子大学学長との二人三脚ですすめてきた「校長の専門職基準」関係3部作の集大成となる。ハードカバーの堅い本であるが、教育の今がわかる一冊である。

［所蔵館：中央］

数理学研究院　教授　野村　隆昭

複素関数論講義

野村隆昭著
ISBN:9784320111417　共立出版　2016

複素解析の本はたくさん出版されています。しかしながら、理論の解説を主体とする本は数学科の学生にも難しく、読解がなかなか大変です。一方で、複素関数論を使う立場で書かれた本は、問題解決の方法にのみ重点を置いて数学的な厳密性を避ける傾向があり、複素解析が本来持つおもしろさや体系的な美しさを伝えきれていません。本書は、既存の本にあるこのような隙間を補うべく、興味深い例や応用も盛り込んで、理論の学習とともに計算も楽しめるように書かれたテキストで、2013年に出版された拙著「微分積分学講義」の続編になっています。演習問題は解いていて興味が湧くようなものを比較的多く採録し、解答・解説も詳しく書かれています。是非手に取って読んでみてください。

［所蔵館：伊都］

留学生センター　講師　金　珽実

満洲及び朝鮮教育史：国際的なアプローチ

Andrew Hall, 金珽実編者
ISBN:9784865610710　花書院　2016

本書は19世紀末期から20世紀初期に中国東北部（旧満洲）及び朝鮮半島で行われた教育について歴史的なアプローチ、教育政策の比較など、日本・韓国・中国・アメリカの国際的な研究者の視点から接近した意欲的な論文を収載したものです。九州大学に学籍を持つ満洲教育研究者及び国際ワークショップ「李氏朝鮮末期・日本植民地期における教育と言語」に参加なさった研究者の論文集です。

他地域・他大学からの様々な発想と問題意識を持つ研究者による、多様な視点からの研究成果をこの一冊でご覧になれるので、ぜひ一度手に取って頂ければと思います。

［所蔵館：中央・伊都］

著書を図書館にご寄贈ください。
図書館では、本学教員の著作を収集・提供するとともに、交流協定校であるソウル大学校との資料交換をおこなっています。
著作を上梓された際は、ぜひ図書館へご寄贈ください。
担当：附属図書館資料整備室 図書受入係　Tel:092-642-2327　Fax:092-642-2347　E-mail:toctosho@jimu.kyushu-u.ac.jp

部分開館中（平成30年夏まで）の

新中央図書館 利用案内

開館時間

■平日　10：00～18：00　※土日祝は休館

資料の利用

箱崎キャンパスや伊都図書館から移転した資料は、当面すべて自動書庫に入庫されます
検索すると、「【伊都】新中央図書館 自動書庫」と表示されます

■直接来館して利用する
館内の専用端末で「九大コレクション」で検索し、検索結果から「自動書庫」ボタンを押してリクエストしてください

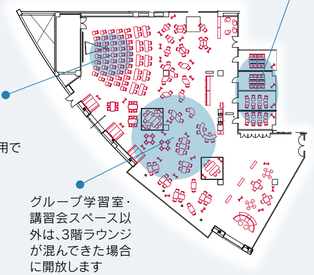
■他の図書館に取り寄せる
「九大コレクション」の検索結果から「予約/取寄」ボタンを押下。最寄りの図書館に、1～2日で届きます
※伊都図書館や椰鳴天空広場でも受け取り可能
※図書も雑誌も取り寄せできます
※文献のコピー（有料）は、図書館Webサイト>マイページ>文献の取り寄せからお申込みください

【貸出条件】
図書：2週間　雑誌：1週間　合計10冊まで

場所の利用

■ラウンジ（3階）
正面玄関入って左手にあるラウンジは、自由にお使いいただけます。（飲食可）

■講習会スペース（4階）
48席（増席可能）
＊15名以上での学習会・グループ活動に貸切利用できます
壁面ホワイトボード・電動スクリーンあり
要事前予約
【予約】図書館Webサイト > マイページ > 施設予約から



■グループ学習室（4階）

4部屋　各8名
＊2部屋をつなげて利用可能（最大20名程度）
壁面ホワイトボード・大型ディスプレイあり
要予約・当日予約可能
1回3時間まで
【予約】図書館Webサイト > マイページ > 施設予約から

■機器の利用（館内のみ）
・ChromeBook
・iPad
・プロジェクタ
・スクリーン
【申込】カウンターにお申し出ください

詳しくは、図書館Webサイト > 図書館を使う > 新中央図書館【伊都】へ
お問合せ：利用支援課サービス企画係（伊都）　tel.092-802-2480　e-mail:touservice@jimu.kyushu-u.ac.jp

図書館員のおしゃべりコラム

伊都キャンパスにて新中央図書館は、平成30年10月に全面オープンします。

今年の10月から一部オープンしますが、まだ建物は完成しておらず、引き続き、隣、上、外構は工事中です。

平成29年10月に図書館工事は完了しますが、そこから書架や閲覧席の導入、資料の移転を丸1年かけて行います。

また、センター3号館からの連絡橋や文系地区総合研究棟など隣接する建物の工事も続きます。

九大の移転完了までのこの2年、手狭ですがどうぞご利用ください。

（中央図書館　企画係　小柳真弓）

九州大学附属図書館報
ISSN1881-6509
きゅうと NEWSLETTER VOL.11 NO.3
2016.10

2016年10月3日 新中央図書館プレオープン！

伊都キャン椎木講堂横に

～1/3だけ先に開館しちゃいます!!～

発行：九州大学附属図書館
TEL 092-642-2533
URL https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/
@QLib_info

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷後の紙へリサイクルできます。

～新中央図書館 特集号～

今秋プレオープンした新中央図書館は、2年後の2018年10月、全面開館します！

収容冊数350万冊、座席数1,350席を有する国内最大級の図書館。その全貌をひと足先にご紹介します！

コンセプト

次の百年を担う図書館であること
～アジアのトップブランドとして～

いざなう - encourage［知の入口］
知の世界へ、知の深みへ。

つなぐ - link［知の交流］
知と人を、人と人を、過去と未来を。

うみだす - create［知の創造］
学生と、研究者と、市民と。

はぐくむ - cultivate［知の涵養］
新たなる知を、ゆたかな人を。

〈学修〉主体的な学びを創出する図書館
〈教育〉教育活動に最大限活用される図書館
〈研究〉世界水準の学術研究をうみだす図書館
〈国際〉世界との架け橋となる図書館
〈社会〉大学の知を社会につなぐ、開かれた図書館

■基礎データ

建物構成	鉄筋コンクリート造地下4階建
面　積	21,000㎡
収容能力	3,500,000冊
座 席 数	1,377席

次の百年を担う九大図書館に寄せて

新図書館の基本計画や設計・建設に携わってくださった方からメッセージをいただきました

人間環境学研究院 堀 賀貴先生
（新中央図基本計画 WG 長）

新図書館が放つ隠しメッセージ
図書館には本箱というイメージがつきまとうためか平地に四角が多いのですが、ここではその逆を目指しました。西向きの斜面に建物を円弧状に広げることによって、実はイースト・ゾーンからは見えない位置となっています。逆にウエスト・ゾーンに対しては椎木講堂と連動して強烈な存在感を与えます（向かい側に留学生センターができると少し隠れますが・・・）。この配置はメインの利用者となるイースト・ゾーンの学生・教員への隠しメッセージともいえます。開館後、是非考えてみてください。

法学研究院 木村 俊道先生
（新中央図基本計画 WG 委員）

新しい中央図書館が、その収蔵能力にふさわしく、大学教育と学問研究を支える拠点として、時代に流されることなく、古今東西の知と九大の学を総合し、歴史と教養を育む「学び」の場となることを、強く期待しています。

戸田建設 城井 剛様

今回の建物は、設計に携わってこられた方々のこだわりが凝縮されており、『傾斜した外壁』、『閲覧席の吹抜け空間』など、難易度が非常に高い建物だと感じています。Ⅱ期工事も全作業員の力を結集し、無事故での竣工を目指します。

施設部 吉原 正剛係長
（建築工事実施設計及び施工管理担当）

次の九大二百年を意識した直径200mの建物であり、平面計画に松葉の校章を取入れるなどこだわりある建物です。メインの閲覧席はダイナミックな吹抜け空間に、また眺望の良いカウンター席、落着いた個室席と用意しています。お気に入りの場所を見つけて下さい。

新中央図書館の建物は、九大の校章を模したデザインなのだ！九大二百年に向け、直径200m、なんだって！

使い方はあなた次第。1,000㎡のアクティブラーニングスペース

1,000㎡もあるアクティブラーニングスペースは、講習会やイベントを開催できるオープンなスペースから、グループで集中してディスカッションできる個室スペースまで、様々な学びのスタイルをどどーんと受け入れる大空間です。フレーム席やファミレス席など席のタイプも充実！ぜひあなたのお気に入りの空間を見つけてください。

☆このスペースは、プレオープン時から利用可能です♪センターゾーンからも近くて、意外と穴場かも!?☆

もう使えます！詳しい利用の仕方は裏面に♪

国際交流スペース　フレーム席

ファミレス席　講習会スペース

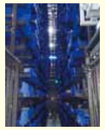
パンの香りただようカフェがオープン！

エントランスには、糸島のパン屋さん「童夢の国」が運営するカフェが併設されます。(H30.10～)
勉強で疲れた頭をちょっと休めに・・
ちょっと小腹がすいたときに・・
おいしいパンとコーヒーでゆったりとお過ごしください♪

☆このスペースは、プレオープン時は閲覧席として使用します☆

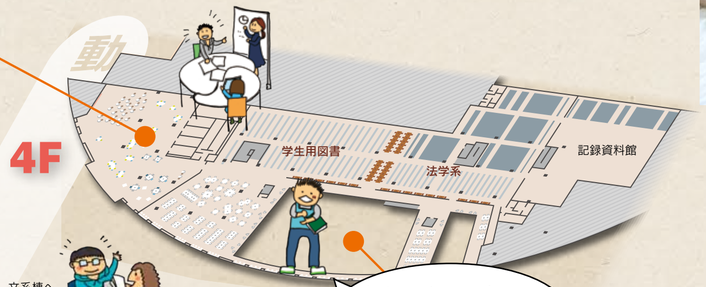
150万冊収容の巨大書庫！

コンピュータで管理された150万冊収容の自動書庫。文系合同図書室の書庫の本がすっぽり納まる規模なのです！
Webサイトから出庫リクエストすると、2～5分の速さで資料がカウンターに到着します。
好きな歌をハミングしながら資料の到着を待ちましょう～♪



イーストゾーンの玄関に位置する新中央図書館は、斜面の高低差を利用した4階建ての建物で、前方のブリッジでセンターゾーンと、後方の屋根で文系の教育研究棟とつながります。

基幹教育、人文社会科学系の教育・研究、および九州大学の国際化の拠点として、また本学附属図書館を統括する総合図書館として、九州大学の学習・教育・研究をガッチリ支えます！



国内最大規模の収容能力！

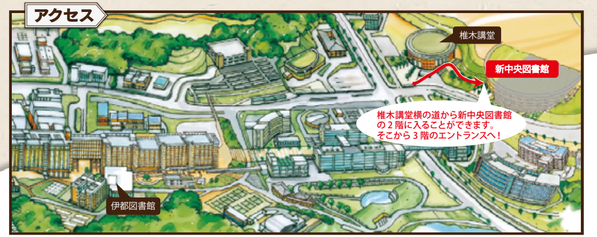
350万冊を収容能力を誇る新中央図書館には、箱崎の中央図書館、文系合同図書室、伊都図書館（一部）記録資料館の資料が一堂に集結します。全面開館時には約260万冊でスタート！これまで学内に分散していた人文社会科学系資料が格段に使いやすくなります。

本に囲まれた4層吹き抜けの大空間！

閲覧室に入ると、4層吹き抜けのダイナミックな空間と、それを取り囲む本の壁が、あなたを深い学問の世界に誘います。
まさに九大百年の歴史を体感する空間。無言で語りかける先人たちの気配を感じてください。

人文社会科学系の研究拠点として

すごいのは収容冊数だけではありません。350万冊のうち、直接資料を手に取れる開架書架がなんと200万冊！分野ごとに各階に配置され、関連するレファレンスブックも同じフロアの閲覧席に沿って並びます。また、新たに設ける準貴重書室では、研究者が貴重な文献を手にとって見ることができます。
資料を使いながらゼミのできる演習室、ひとりで貸し切れる研究個室などの研究スペースも備え、まさに、人文社会科学系の研究拠点にふさわしい、収蔵と利用の両面を考えた快適かつ機能的な研究図書館です。

万全の保存環境が整った貴重書室には、学内の貴重書が集約されます。

アクセス